

## 「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

生き生きとした笑顔あふれる指っ子の育成  
— 自分の考えをもち、豊かに伝え合う児童の育成 —

## ＜本年度の学力向上策＞

## 1 基礎・基本の確実な定着

- (1) 「分かる授業」の実施
- (2) 『たけのこタイム』の充実
- (3) 家庭での学習習慣の定着
  - ・基礎学力定着プログラムの活用
  - ・家庭学習カードの活用

【進んで問題を解いたり、考えをまとめたりする児童 90%以上】

【授業で「分かった」「できた」と感じる児童 90%以上】

【家で宿題や宿題以外の学習も進んでやる児童 90%以上】

## 2 指導方法の工夫改善

- (1) 指扇小ベーシックの作成・見直し
- (2) 学習コーナーの活用と工夫・改善
- (3) 校内課題研究『国語力の向上』の推進（言語活動の充実）
  - ・ICTを効果的に活用した授業
  - ・読書習慣の定着

【国語力向上に向けた校内授業研究会 3回以上】

## 3 小・中一貫教育の推進

- (1) 学習規律の徹底（身構え・物構え・心構え）
- (2) 中学校教員によるTTの授業
- (3) 「つぼみの日」の充実

【きまりを守って生活する児童 90%以上】

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 ○学校評価児童アンケートにおいて、授業で「分かった」「できた」と感じる児童は、約90%となり、充実した授業に取り組んでいると考えられる。
  - ▲進んで問題を解いたり、考えをまとめたりする児童は85%、家で宿題や宿題以外の学習も進んでやる児童は87%となり、目標を達成することはできなかった。基礎学力定着プログラムの活用や家庭への呼びかけの工夫をすることで、自ら進んで学習に取り組める態度を育てていきたい。
- 2 ○国語力向上に向けた校内授業研究会を1学期に2回、校外に向けた授業公開を2学期に1回行うことができた。研修を通して、授業力の向上、校内の学習環境の整備を図ることができた。
- 3 ○学校評価児童アンケートにおいて、きまりを守って生活する児童は、95%となった。中学校区で共通理解を図って指導に当たることができた。
  - ▲打合せの時間の確保が難しく、中学校教員によるTTの授業の充実が図れなかったので、連携の仕方を工夫していきたい。